

令和2年度 よく寄せられる質問

福島県立郡山萌世高等学校（定時制）

I 入試関係

- 1 現在、不登校傾向で保健室登校しているが、そのような子どもでも入学は可能か。

本県の選抜方法については、身体状況については、特に就学不能と認められる者を除いては差等を付ける資料としないとなっています。

入試の公平性・平等性の観点から、選抜を行っています。

- 1 保護者と生徒のみなさまへ

「自己申告書」がありますので提出してください。

※自己申告書は不登校による欠席日数が1年間で30日以上の方としていますが、30日未満の日数であっても希望する方は提出することができます。

- 2 中学校の先生方へ

長欠や保健室登校等がある場合には、出来れば、調査書に理由を明記してください。診断書提出の必要はありません。もし発達障がいなどがあれば、そのことも記載していただければ本校としては助かります。

- 2 「自己申告書」の記載内容についてアドバイスがあればいただきたい。

長期欠席がある場合は、診断書などで考慮はしてもらえるか。

正直に、事実をありのまま申告してください。医師による診断名があれば、病名等も記載してください。

提出書類の記載内容に事実と相違している点が判明したときは、合格を取り消すこともあります。

- 3 発達障がいでのコミュニケーションがうまくとれない。面接で考慮いただけるか。

入試で配慮すべき事があれば、「受験上の配慮申請書」を中学校へご提出ください。中学校の校長先生をとおして、「生活・学習の様子、配慮等に関する説明書」にもとづいて「受験上の配慮に関する通知書」をお送りいたします。他の受験生と不平等にならないことを前提に、可能な範囲で対応します。

- 4 どのような生徒を望みますか。

本校は、多様な生徒がその学習歴に応じて、また、それぞれの生活時間に合わせて学ぶことのできる学校として創設されました。

本校生徒となる大前提は、これまでの学習歴や能力にかかわらず、高校で学びたいという主体的に学ぶ意欲です。

また、本校は社会のルールを本校のルールとしていることから、自らの生活を律することができる向上心を持っていることです。それは、学年制をとる他の多くの学校以上に、単位制である本校で求められていることです。

以上のことから、本校の「志願してほしい生徒」の資質として、「自らを律し主体的に学ぶ態度と向上心を持ち、自分の将来について明確な目標を有すること」としています。

5 特色選抜はどのようなものですか。

特色選抜とは、「志願してほしい生徒像」に応じた自分の志願したい高等学校を主体的に選択し出願できる選抜です。

本校の特色選抜では、上記4を踏まえて、次のような生徒を求めています。

昼間主コース：（注）学校の教育活動以外の場でこれまで実践してきた活動を、学業と
両立させながら継続し発展させる意欲を有する者

夜間主コース：働きながら学ぶ意欲を有する者（アルバイトを含む）

なお、選抜は学力検査、特色選抜志願理由書、調査書、特色面接を資料として行います。また、募集定員枠は、昼間主コースは10％程度、夜間主コースは50％程度です。

（注）学校の教育活動以外でこれまで実践してきた活動とは、本校生が実践してきた次のような活動をイメージしています。

ヴァイオリン、ロッククライミング、詩吟、タップダンス、俳優、将棋、ボランティア活動

II 在籍関係

1 3年間で卒業する生徒はどのくらいいるか。

昼・夜間主コース共通の授業（5・6校時）を受けることで、3年間で卒業する必要な単位を取ることができます。ほとんどの生徒が3年間で卒業しています。また、4年間で卒業する生徒はその年次の約9％です。

2 入学後のコース変更は可能か。

入学後に昼間主コースから夜間主コースへなどのコース変更はできません。

3 定時制から本校通信制への転籍は可能か。

年度末から6月にかけて、通信制へ転籍することは可能です。

ただし、それ以外の時期の転籍はできません。通信制のどの学年に転籍できるかは、それまでに修得している単位数により決まります。転籍試験は書類審査と面接試験がありますが、必ず合格するとは限りません。

4 他校からの転入はできますか。

原則として、在籍定員に欠員があり、保護者の転勤などに伴う一家転住が理由である場合に、転入学試験を実施しています。試験科目は国語・数学・英語及び面接です。

Ⅲ 進路関係

1 どのような進路に力を入れている学校か。

令和元年度卒業生の就職内定率は、100%です。海上自衛隊や就職進学も含んでいます。

また進学は、岩手大学、静岡産業大学、郡山女子大学短期大学部、会津大学短期大学部、桜の聖母短期大学などに合格し、また看護専門学校など各種専門学校へも進学しています。

一人一人の希望に即して、それぞれの進路希望実現に向けて支援しています。

2 授業を使って資格取得の勉強はさせてもらえるか。

令和元年度は、漢字検定2級、ビジネス文書1級（全商）、珠算電卓検定2級（全商）などの合格者を出しました。今年度もこれらの他に、情報処理検定、英語検定、硬筆書写検定などに挑戦する予定です。放課後等に課外や個別指導をしています。

なお、在学中に指定された資格を取得した場合は、学期毎に単位認定をしています。

Ⅳ 学校生活

1 本校の防災等の安全対策について。

本校の入るビッグアイは、制震構造の建造物です。東日本大震災の際も、建造物に被害はありませんでした。非常階段の使用訓練や災害避難訓練などを、ビッグアイの防災センターと連携しながら実施しています。

2 単位制のメリット、デメリットについて。

〈メリット〉

- ・自分の進路希望や興味・関心に応じた科目選択ができる。
- ・自分の学習歴や生活に応じた学び方ができる。
- ・自分のペースで学習を進めることができる。

〈デメリット〉

- ・自分の生活管理ができないと単位取得ができず、意味のない学校生活を送る可能性がある。
- ・選択授業が多いため、同じメンバーで授業を受けることが少ない。
- ・主体性がないと科目の選択に迷ってしまう。

3 部活動にはどんなものがあるのか。

他の全日制とほぼ同様の文化部・運動部があります。グラウンドやプールはありませんが、運動部は8Fのアリーナ（体育館）を使用して活動しています。部活動の種類などは、学校パンフレットやHPを参考にしてください。

4 修学旅行はあるのか、どこに行くのか。

毎年2年次生で実施しています。平成29年度は沖縄、平成30年度以降は関西方面です。

5 仕事をしながら通っている生徒は何人ぐらいいるのか。

定職に就きながら学んでいる生徒は、ここ数年いません。アルバイトをしている生徒が4割程度います。

6 入学時、どの位のお金がかかるか。

令和元年度の場合、次のとおりです。

- | | |
|----------------------------|----------|
| ・入学時諸納金（各種入会金、学級費他） | 計17,000円 |
| ・諸会費（後援会費・生徒会費・PTA会費） | 計28,000円 |
| 他に教科書、運動着、修学旅行の経費などがかかります。 | |

7 給食は誰でも利用できるか。

8Fに食堂があり、夜間主コースの生徒を対象に食券制の給食を実施しています（任意）。1食300円で、事前に申込みをします。業者委託ですが、栄養のバランスを考えた献立を提供しています。